

保護者の皆様や地域の皆様には、日頃より南丹市の教育行政の推進にご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

いよいよ各校では、令和7年度の修了式や卒業式が行われようとしています。南丹市では『3学期は今年度のまとめの学期であり次年度の0学期である』と位置付けています。また、3学期は小学校6年生にとっては6年間の、中学校3年生にとっては3年間のまとめの学期とも言えます。

この節目の時期に、これまでのお子さんの成長した内容や今後の過ごし方等について、少し時間をとってお話いただければと考えています。南丹市としましては、義務教育を終える中学校3年生にとって『夢と希望』をもって進路実現できる学期になることを願っているところです。

さて、南丹市教育委員会では、令和5年から7年度の3年間を『教育は環境からプロジェクト FIRST STAGE』と位置付けています。この間、部活動地域移行事業や読書環境整備事業、AIドリルを全児童生徒に導入した個別最適化事業、不登校児童生徒等の早期発見・早期支援事業の4つの事業（資料1）を中心に教育環境を充実させることを通して各学校を支援してきました。

学力向上については、先生方の授業力向上がこどもの学力向上に繋がると考えて『南丹市小中学校授業研究会』を全小中学校で実施しています。今年度行ったすべての授業研究会では、児童生徒が落ち着いて授業に取り組んでいる姿や授業改善に向けて努力する先生の姿、校長先生をはじめ支える多くの先生の姿がありました。授業研究会の様子から各学校が『落ち着いた学びの場』になっていることが分かりました。

教育環境の整備と各校の授業研究会の充実によって、全国学力学習状況調査や京都府学びのパスポートの結果に少しずつではありますが成果として表れています。

南丹市としましては、学ぶ意欲・能力・態度を身に付けた「自立した学習者」を育てる教育を目指しています。そのためには、『教育は環境からプロジェクト』により学校での教育環境を整備し、内容が充実した『キャリア教育』を行うことで、自らの将来について夢と希望を持ち、主体的に学ぶ姿勢を育みたいと考えています。一方で家庭学習習慣定着を阻む大きな壁があります。それは、児童生徒がスマホ等を長時間使用していることやSNS上でのトラブルなどによる生徒指導上の課題などがあります。このような課題を克服する為には、今やらなければならないことを主体的に判断する自己制御力（非認知能力）を育むことが必要だと考えています。（資料2）

令和8年からは『教育は環境からプロジェクト SECOND STAGE』と位置付けて、教育環境を更に充実させ、家庭学習方法の具体的な提示や規則正しい生活習慣を身に付けるなどの家庭学習習慣の定着を図っていきたくと考えています。

南丹市教育委員会 教育長 國府 常芳

南丹市版『教育は環境からプロジェクト』

南丹市版 部活動地域移行
※南丹市チームで練習

南丹市版 読書環境整備事業
※読書や学習に集中

南丹市版 自立した学習者育成 個別最適化事業
※全児童生徒にAIドリルを

南丹市版 不登校児童生徒等の 早期発見・早期支援事業
※教育支援センター分室設置

京都府総合交付金・文科省指定事業等活用で 南丹市の教育環境は大きく向上

京都府子どもの教育のための総合交付金 + 文科省指定事業費 + 南丹市負担

資料1

【成果】学力向上

小学校		中学校	
数	率	数	率
2021	58.1	58.1	58.1
2022	60.5	60.5	60.5
2023	62.9	62.9	62.9
2024	65.3	65.3	65.3

【成果】競技力向上
16名が近畿大会に出場・1名が全国大会に出場

資料2

学ば意欲・能力・態度を身に付けた「自立した学習者」を育てる教育

南丹市版教育は環境からプロジェクト

家庭学習習慣定着の壁

- 家庭での使用ルールが無いことでスマホなどを長時間使用
- 児童生徒間のSNS上でのトラブル
- 間違った情報や価値観の入手 など

キャリア教育の充実
発達支持的生徒指導の徹底

非認知能力の育成
自己制御力を育む

家庭学習方法の提示
家庭学習計画表の作成

◇各幼稚園・小学校・中学校における特色ある取り組み◇

園部 幼稚園



「和 (wa) になって語ろう会」と名付け、教師同士が和やかにこども達の遊びの様子を語り合う中で、こども達の遊びを読み取ったり、更に遊びを充実するための環境や教師のかわり方を考えたりする時間を定期的に設けています。また、全職員でこども達の成長を喜び合ったり、それぞれの実践から自身の保育を振り返ったりして、資質向上につなげることも大切にしています。

幼稚園の教育を充実させるため、こども達のより深い学びや成長につながるよう「語り合い」を積み重ね、遊びの充実につなげていきたいと思ひます。

和 (wa) になって語ろう!
～教育の充実や教師の資質向上を目指して～

園部 中央幼稚園



幼児学園では絵本の取組第二弾として、今年度より、降園時に親子で絵本を借りる日「絵本室開放日」を週一回設けています。開放日には「今日は何本の絵本を借りようかな？」と保護者も一緒に絵本を選ぶ姿が見られ、親子で過ごす中で、ホッとしたり、居心地のよさを感じたりできる空間になっています。物語のおもしろさを共感したり、挿絵の美しさに感動し合ったりしながら親子で絵本に触れる時間を楽しんでほしい、読書が大好きになってほしいと願っています。

「絵本の取組第二弾！」
～親子で絵本を楽しむ！～

園部 小学校



本校では、児童がさまざまな文化芸術に触れる機会を積極的に取り入れています。お琴の演奏体験やお茶の作法の学習、食育の研究と関連付けたおせち料理の学習では、実体験を通して日本の伝統文化への理解を一層深めることができました。また、今年度は文化鑑賞会を2回実施し、演劇やジャグリング、マジックなど、質の高いパフォーマンスを間近で鑑賞する貴重な機会となりました。このような本物との出会いは、児童が文化や芸術の価値を実感する大切な機会となります。

今後も、実体験を通じた学びを重視し、豊かな感性や表現力の育成につなげていきます。

文化鑑賞会や茶の湯体験の様子

園部 第二小学校



本校では、夏休みに地域の方・保護者・教職員が集う『コミスクわいわい会議』を開催しています。こどもたちの様々な場での様子を共有し、地域や人を大切にする心を育むためにできることを話し合います。

今年のテーマは「地域よさに目を向け、人や地域とつながるこどもを育てるためにできることを考えよう～優しさ・思いやりのあふれるその二つこ～」。11月には、この話し合いをもとに各学年で「PTA 親子人権学習」を行いました。

今後も地域・家庭・学校が一体となり、こどもたちの心を育む取組を推進していきます。

コミスクわいわい会議、PTA 親子人権学習

八木西小学校



百人一首で坊主めくりを楽しむ様子

本校では、地域に住む様々な人とのつながりを大切にしています。

2年生は、12月にふれあいサロンの方と交流をしました。自己紹介、すごろく、おはじき、カルタなどの遊びをしたり、『手のひらを太陽に』を歌ったりし、子どもたちや参加者の皆さまの笑顔があふれる温かな時間になりました。

多様な人々とのふれあいを通して、人の大切さや自分との関わりを考えるとともに、ぬくもりのある地域社会の一員として、人とつながり、人と支え合うことができる児童を育てています。

八木東小学校



2年生「パーソナルスペースを知ろう」

今年度より、子どもたちが性暴力の被害者・加害者・傍観者にならないための「生命(いのち)の安全教育」に取り組んでいます。

自分や相手の心と体を大切に、一人ひとりを尊重する態度などを、発達段階に応じて身に付けることを目指しています。

- ①プライベートゾーンを大切にする
 - ②人との適切な距離感を守る
 - ③愛情を受けて生きていることを理解する
 - ④多様性を認め合う
 - ⑤こどもの権利を理解する
 - ⑥不適切な SNS 利用をしない
 - ⑦心の傷の回復力を知る
- 学習内容は、広報誌を通じて保護者と共有し、家庭と共に取り組んでいます。

殿田小学校



殿小スクラム！！
みんなで学ぼうさい 2025

毎年のように各地で地震や洪水などの災害が起こっています。本校では、学校運営協議会や地域の皆さまと6年生が防災をテーマに「熟議」を行いました。今年度は、話し合ったことを生かすように実行委員会で協議し、「殿小スクラム！！みんなで学ぼうさい 2025」を開催しました。

南丹警察署や園部消防署日吉出張所、明治国際医療大学、社会福祉協議会などに加えて、保護者の方も入っている地域の消防団にもお世話になり、体験的に学ぶことができました。地域総がかりでこどもの安全を守り、支えている大人の頼もしい姿が印象的でした。

胡麻郷小学校



「地域を学ぶ、地域で学ぶ、地域に学ぶ」
胡麻郷小学校の子どもたち

学校と地域が連携する「地域学校協働活動」は、今年度も多くの皆さまに支えられ、本校が誇る自慢の活動となっています。

子どもたちは、米作りやしめ縄づくり等、様々な体験を通して郷土への愛着を深め、「わが町」を誇りに思う心を育てています。また、卒業生や地域の方々から生き方のアドバイスをいただく機会は、将来への展望を高める貴重な糧となっています。

「子どもたちのために」と尽力してくださる皆さまに深く感謝し、この素晴らしい絆を子どもたちの確かな成長に繋げられるよう、今後もより充実した活動を目指してまいります。

美山小学校



プログラムの1つ、
「みんなで踊ろう！美山町音頭」の様子

本校では、金曜日の放課後を使って「放課後子ども教室(仮称)」を始めました。(今年度は計6回実施)地域の皆さまが音楽・スポーツ・ものづくりなど多彩なプログラムを準備され、児童は選んだ活動に取り組めます。(選ばないも可)

「好き」を大切に「得意」を生かすこと、新しいことに挑戦する力を育てること、地域ならではの体験を取り入れること、安心できる環境づくりを進めることなどを目指しています。

これからも地域とともに、温かく美山っ子を育てていきたいと思えます。

園部中学校



イベント手伝い(左上)、高齢者施設での演奏会(左下)、のぞみ園の清掃手伝い(右)

生徒会が「地域でも活躍する園中」を目指して活動する「地域貢献ボランティア」は、開始から約1年が経過しました。これまで、各施設や事業所から計20回の依頼があり、延べ195名の有志が活躍しました。

多くの方々との交流を通して、地域・産業・自然・文化の豊かさや良さを再発見し、大きな収穫が得られたと喜んでます。生徒会は、この取組を伝統として引き継いでくれました。

今後とも社会の一員として地域の存在を大切に、主体的に参画できるよう、保護者、地域の方の理解と協力を得てさらなる充実を目指したいと思います。

八木中学校



体育祭「八木音頭による盆踊り」

本校では、自分たちの住んでいる地域の文化に触れ、愛着を感じ、将来「ふるさと八木町」を懐かしく思い出すものの1つになればとの思いから、昨年度より学校運営協議会とともに「八木音頭による盆踊り」に取り組んでいます。昨年度は地域の方に講師をお世話になり、盆踊り講習会を実施し、今年度は、体育祭の一幕に子どもたちと保護者、地域の方が一緒になって盆踊りを踊りました。子どもたちと保護者、地域の皆さまの笑顔があふれるひと時となりました。これからも地域とともに地域愛の溢れる中学校を目指します。

殿田中学校



探究的な学習の様子

殿田中学校では、総合的な学習の時間を活用して探究的な学習を進めています。「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」といった過程を繰り返しながら、各学年で設定したテーマに基づいて学習しています。

この間、地域の方々や大学生など、数多くの方々に関わっていただき、学校だけでは知らなかったこと、考えなかったことに沢山出会い、気づき、深め、効果的に伝える方法を考えるチャンスを得ることができました。これからも学びを深めていきます！

美山中学校



学校・家庭・地域で創り上げる熟議

変化の予測が困難な未来社会が必要となるであろう、自ら考えて行動する力、対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し最適解や納得解を生み出す力の育成を目指して、文化祭に生徒が企画・運営する午後の部を新設し、地域の皆さまの協力を得て楽しい思い出を創り上げることができました。

また熟議では「なぜ学ぶのか」について、その目的や意義とともに、大人になっても学び続ける姿勢が大切だということに気づきました。今後も達成感・自己有用感を育みながら、社会の変化と主体的に向き合い学び続ける人材の育成を図りたいと思えます。

桜が丘中学校



福祉体験活動の様子

「人権の尊重を基盤として、一人一人が自信を持ち、心身ともにたくましく、社会人として自立できる生徒の育成」を教育目標として様々な取組を行っています。その取組の一つとして、社会福祉への理解を深め自己肯定感・有用感を高めることや、これからの社会を支える担い手として社会福祉施設のもつ役割を学ぶことなどを目的として福祉体験学習を行っています。今年度は10月に社会福祉法人長生園へ訪問させていただき、施設の仕事体験や入所されている方々との交流を行い、子どもたちにとって大変有意義な機会になりました。